

九

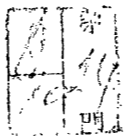
清皇流用事件

甲午三月

外務省

5-1 298

0145



第四五號

清兵流刺事洋債報

三七三五

長谷川

本件は付其後、成子り同く、  
 字營領事元愷調停  
 人々章紫封ト共、並領事館  
 及、並警務署者ソ訪向し、  
 槍、禮表、向後、取締り  
 約東、常事、兵士、又、軍塔、  
 總領事、受、事、落着、  
 破損、對、警務署、  
 肯、也、又、演劇場、損、  
 在漢口日本帝國領事館

就、被害者、言、千餘元、  
 償、要求、清、官、側、之、  
 惟、當、初、誤、果、動、  
 事、端、若、起、  
 官、邊、  
 穩、和、  
 熱、心、  
 其、意、  
 日、歷、



近、酒興も土民平日より多し、金銀  
 無責任、兵士、奉動、附私留同  
 り、近、加害、或、部、其、責任者  
 事、態、益、四、立場、鑑、尚、今  
 人、か、深、名、答、リ、尊、重、親  
 念、か、却、此、満、是、七、知、果、リ、齋、親  
 右、續、報、申、途、後、教、具  
 明治四十二年二月廿六日  
 在漢口領事館事務代理  
 領事官 浦山崎 啓

在漢口日本帝國領事館

外務大臣 齋藤 實 殿

